

神戸女子大学
健康福祉学部
「完成報告書」

2013年7月31日

1. 学部の教育目標

健康福祉学部は、子どもから高齢者・障がい者まで福祉社会で求められるあらゆるシーンにおいて、健康と福祉を有機的に連携させ、より健康で生き生きとした幸せな生活が送れるようにすること、そして人間、地域、社会などを総合的に理解し、人間関係や社会のあり方、健康を支える栄養、運動の本質を科学的に追究する学部である。

(1) 社会福祉学科の教育目標

社会福祉学科は、人間尊重と国民の健康と福祉の増進を基本理念として、誰もが人間らしく生き生きと生活し、自己実現を達成するように、ともに支えあい、ともに暮らせるような「健康福祉社会」をめざして、活動する知性と感性、積極的な行動力を持つ以下の能力を備えた専門職を養成している。

- ① 少子高齢社会における市民とくに子ども・高齢者・障がい者など社会的に支援を要する人びとの問題に関心をもち、その解決に向けて主体的に考え行動する力と意欲のある人材を養成する。

(自立心)

- ② 対人援助に必要な高度なコミュニケーション能力と他者と協働する力をもつ人材を養成する。

(対話力)

- ③ 豊かな福祉社会の実現のために、福祉のこころと豊かな人間性を備え個々人の人権を尊重し、かつ柔軟に発想し工夫し開発・実行できる人材を養成する。(創造性)

これらを達成するために、健康、人間、社会、文化に関する科学的かつ総合的な理解を図ることを教育上の目的としている。その教育内容は次のとおりである。

- ① 社会福祉の理念・倫理・価値・知識・技術を教授するとともに、社会の変化に対応した今日的福祉課題の研究を行う。

- ② 地域社会・福祉施設機関・国際関係等での福祉実践を通して、幅広い社会貢献活動と福祉教育を行う。

これにより、福祉問題を的確に把握する能力及び創造的な実践力、豊かな人間性を涵養することができ、福祉現場や社会が求める人材を創出することを目指している。

(2) 健康スポーツ栄養学科の教育目標

健康スポーツ栄養学科は、「栄養」を基点に「健康とスポーツ」を大きく捉えて、日々の健康づくりからスポーツ選手に至るまでの食事と栄養のあり方を学び、健康やスポーツを栄養面から支える専門性の高い以下の能力を備えた人材を養成している。

- ① 健康づくりや運動並びにスポーツ活動を楽しむ人々に必要な食と栄養について関心をもち、課題解決や健康教育を推進する社会のリーダーとして幅広いフィールドで活躍し、責任を十分に果たせる姿勢や意欲を持ち合わせた活動的な人材を養成する。(自立心)

- ② 健康教育の勧めは、栄養や運動の管理が重要である。人のこころや地域社会を動かすためのコミュニケーション能力及び生涯にわたって社会福祉に貢献する人材を養成する。(対話力)

- ③ 国民一人一人が豊かで健康的な社会生活を営むために、幅広い教養と専門性を身につけ、かつ柔軟な発想力と創造性をもって地域や国際社会に貢献できる人材を養成する。(創造性)

これらを統合的に達成するための教育上の目的を次のように定めている。

- ① 地域社会やスポーツ現場が求める、適切な栄養教育や運動教育に関わる教育・研究を進め、成果をあげるために必要な実践力や社会人基礎力を身につける教育を体系的に進める。
- ② 生涯にわたる生活やスポーツに必要とされる健康的な心身の発達のための教育支援プログラムを提供するための教育・研究を進める。
- ③ 世界の国々のライフスタイルに応じた食と栄養のあり方や疾病予防・治療法を提供するための、国際的な栄養学や食文化の教育・研究を進める。

2. カリキュラムバランス

(1) 社会福祉学科について

社会福祉学科においては、①「幅広い知識」と「多面的なものの見方や考え方」を育てる教養科目、②福祉を学ぶ基礎科目、③資格取得のための専門科目、④福祉現場でのスキルアップにつながる発展科目等をバランス良く配置して、社会で必要とされる福祉を理解する社会人や社会福祉の各分野における高度な専門的人材を養成している。

(2) 健康スポーツ栄養学科について

健康スポーツ栄養学科においては、栄養士と健康運動実践指導者及び実践健康教育士の資格を取得することを基本に、各専門分野における高度な専門的知識や技術を修得するための専門科目とともに、「幅広い知識」と「多面的なものの見方や考え方」を育てる教養科目とのバランスのとれた配置を実施している。

健康づくりを中心に生涯において豊かな生活を営むための栄養学を学びたい学生については、栄養士免許取得のための「栄養士資格に関する科目（栄養士養成指定科目）」をベースに、食を幅広く捉える「ライフサイエンス関連科目」、健康と福祉の関連を理解し国際的な健康を考える「健康・福祉関連科目」、及び食のスペシャリストを目指す「資格関連科目」を履修する。また、世界で活躍できる栄養士を目指し、海外の大学と連携して研究するためのカリキュラムも編成している。

一方、運動と栄養の関わりに興味が高く、競技スポーツを行っている子どもから大人までを対象に栄養学を学びたい学生については、「栄養士資格に関する科目（栄養士養成指定科目）」をベースに、スポーツ栄養に関わる高い専門性を学ぶ「スポーツ栄養関連科目」及び運動指針に基づいた健康づくりや身体機能の維持増進や機能改善を学ぶ「健康運動実践指導関連科目」を履修する。

3. 教養教育

教養科目については、「幅広い知識」と「多面的なものの見方や考え方」を育てることを基本として、全学の学生が共通に履修する「全学共通教養科目」がある。専門家である前に、人間として必要な知識、考察力、思考力、判断力などを養い、真に社会に役立つ存在となるために必要な科目を設定している。その中には就職試験や公務員試験、教員採用試験などに向けたキャリア関連の科目や地域ボランティアなどの社会貢献活動なども含まれる。また、ポートアイランドに位置する4大学（神戸学院大学・兵庫医療大学・神戸女子大学・神戸女子短期大学）の連携活動の一環としての「神戸ポー

トアイランド4大学連携単位互換科目」があり、新たな世界や興味の広がりを促し、自己の発見につなげている。

4. 導入教育

導入教育として、両学科においてこれから大学生活を始めるにあたって、どのような意識で学習や様々な活動をすればよいか、そのためにどのような学習プランが必要かを考えることを目的として、社会福祉学科は、「社会福祉演習Ⅰ」を必修科目とし、「基礎科目群」の科目や教養科目等を履修した上で、各国家試験受験資格科目群を履修するよう指導を行っている。健康スポーツ栄養学科では、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を必修科目とし、少人数制のゼミ形式で学科の専門性や学士課程教育についての理解を早い段階から深めるための教育を行っている。また、両学科ともに「卒業論文発表会」を開催している。4年次生の研究成果の達成度を評価すること以外に、2年次生への参加を呼びかけて、次年度以降の専門研究へのより深い関心と研究遂行の意欲を高めるための教育を行っている。

5. 入学時・進級時などにおける履修指導及び履修登録単位数の上限

入学時の履修指導については、「履修の手引き」と「授業計画書 SYLLABUS」、授業時間割をオリエンテーションで配付し、学科及び事務部のガイダンスを実施するとともに、クラス担任制を置いて、きめ細かな履修指導を行っている。社会福祉学科では新入生オリエンテーション合宿を実施し、より徹底した履修指導を図っている。

進級時についても、各年次ごとに計画的な履修指導を行う必要があり、教員による履修相談と合わせて教職免許の取得等については、事務部の専門部局で個別に履修指導を行っている。社会福祉学科では、国家試験受験資格取得を希望する学生が数多く入学しているため、「福祉実習指導・国家試験等支援対策事務室」を設置し、1年次より目標を明確にさせて、「挑戦講座」や「対策講座」等を設定するなど資格取得を支援している。健康スポーツ栄養学科についても同様に、「栄養実習指導・国家試験等支援対策事務室」を設置し、資格や免許の取得に向けての支援を行っている。

履修登録単位数については、両学科ともに資格取得に係る指定科目が数多くあるので、各年次における単位数の上限を58単位として、質の高い教育の保証に取り組んでいる。

6. 授業評価とFD

教員の教育指導方法の改善を促進するための組織的な取り組みと、その有効性を判断するためにFD・SD委員会を設置し、授業評価アンケートを実施している。授業評価アンケートは、授業科目の種別（講義・演習、実験・実習、実技等）ごとに設問を設定し、前・後期末に年2回実施している。各授業に対する学生の反応とニーズを知ることによって、教員が授業改善に活用している。

当該調査結果は各教員にフィードバックされるとともに、学生には本学のポータルサイトにて一定期間結果を公表している。

FD・SD委員会においては、他学部の現状や課題についても意見交換を実施し、大学全体のレベル向上に努めている。

7. シラバス

授業の方法及び内容並びに一年間の授業計画、成績評価基準等については、学生に配付する「授業計画書 SYLLABUS」及びWeb 上において明示している。「授業計画書 SYLLABUS」は、一定の書式で作成することとしており、到達目標、授業の概要、準備学修、15回の授業計画、評価方法、教科書・参考書を掲載している。1回ごとにどのような内容の授業をするのかが具体的にわかるように記述し、評価については、複数の方法により評価する場合にはその割合を明示している。

8. 目標達成状況

健康福祉学部（社会福祉学科・健康スポーツ栄養学科）は、2012(平成24)年度に完成年度をむかえた。学生確保については、年次経過とともに安定した状況となっている。また、平成25年3月に卒業した第1期生の進路決定率（就職・進学）は、社会福祉学科(85.7%)・健康スポーツ栄養学科(94.5%)、学部全体(91.0%)であった。

これらの結果から見て、現時点における健康福祉学部の人材育成並びに教育研究上の目的は、ほぼ達成できたと考えている。今後も教育研究活動の改善・充実を図り、安定した学部運営の基盤整備のために不断の努力を行うこととする。

以上